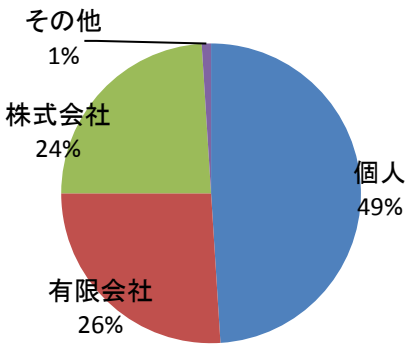
小規模事業者の経営発達支援調査結果報告書（概要）

亀山商工会議所
中小企業相談所

亀山市内の小規模事業者（常時使用する従業員数が、原則、商業･サービス業は5人以下、製造業その他の業種は20人以下の事業者）742社を対象に、その経営実態を把握し、今後の持続的な発展のため、ハンズオン支援する当所の経営発達支援事業の参考に資するため、令和元年6月～7月までの間、アンケート方式にて調査を行い、計181社から回答を得た。（回答率：24．4%）

【問1】 組織形態

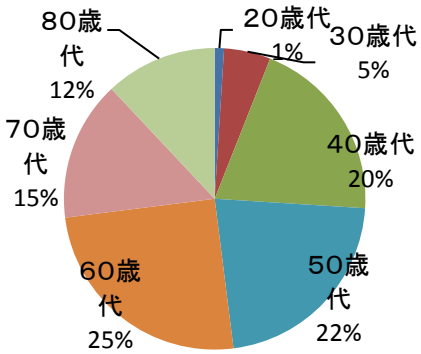
経営の組織形態としては、個人事業主と法人が約半分ずつで、その法人のうち、有限会社、株式会社、合同会社の順となっており、個人事業主を筆頭に、その構成割合が高い順で社歴も長い企業が多い。



1．組織形態

【問2-1】 経営者の年齢

経営者（代表）の年齢は、60歳代が25%と最も多く、また、60歳代以上を合わせると、回答企業全体の1／2を超えるなど、高齢化がより顕著となっている。



2－1．経営者の年齢

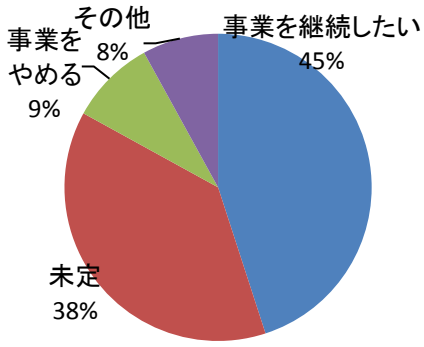
【問2-2】事業継続・後継の有・無

①［事業継続］

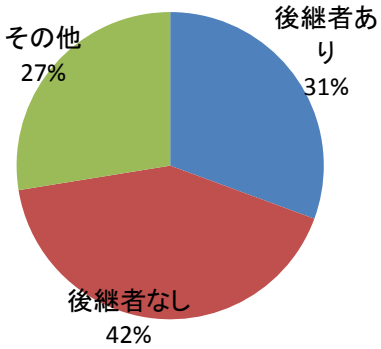
事業継続に関しては、「継続したい」が「未定」「事業をやめる」を上回っており、「その他」の回答の中には合併（M＆A）もあった。

②[後継（予定を含む）]

後継者の有・無に関しては、「後継者なし」が「後継者あり」を上回っており、「その他」の回答の中には事業承継済みなどもあった。



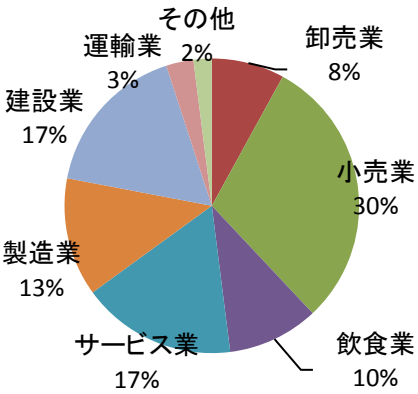
2－2．①事業継続



②後継（予定）者

【問3】 主な業種

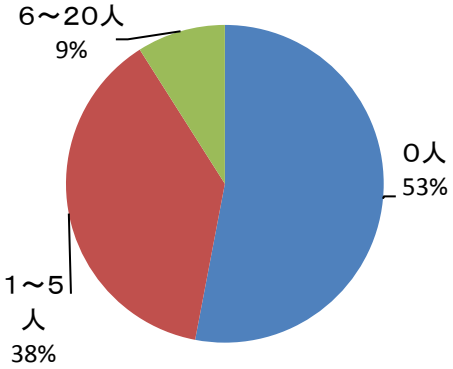
主な業種の内訳は、常時使用する従業員数5人以下の対象業種である商業･サービス業が回答企業全体の約2／3を、また、同20人以下の対象業種である製造業その他の業種が1／3を占めている。



3．主な業種

【問4】 常時使用する従業員数

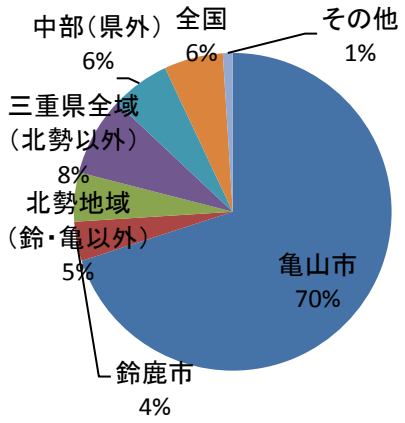
代表者とその家族従業員・役員のみ、もしくは雇用といっても非正規雇用のみの小規模事業者が、回答企業全体の1／2を超えており、正規では雇用しない、または雇用できない様々な事情も見受けられる。



4．常時使用する従業員数

【問5】 主な得意先・商圏の割合

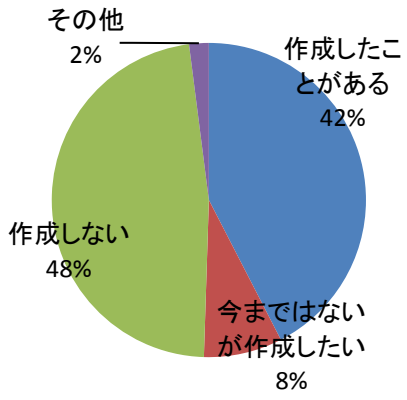
商業はもちろん、工業でも、「亀山市内」が得意先、もしくは第1次商圏となっていると回答した企業が2／3を超えており、特に商業では商取引の相手方との距離との間に相関関係が見受けられるが、同心円状ではなく、東部一円に広がっており、工業ではより広域的な商取引も見受けられる。



5. 主な得意先・商圏

【問6】 計画の作成

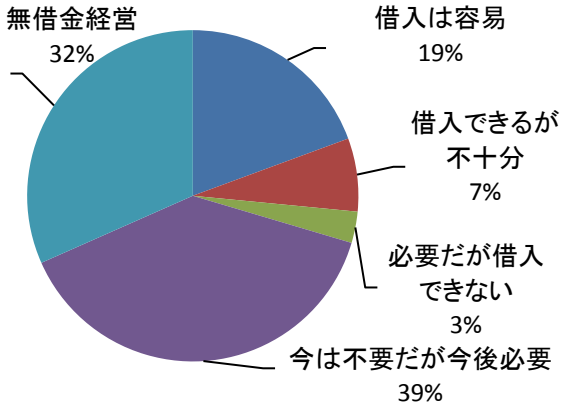
事業計画・経営計画の作成経験に関しては、「作成したことがある」が42%と多く、「今後作成したい」も合わせると、回答企業全体の1/2に達し、計画作成企業が未作成企業を上回っている。主な要因としては、金融機関との間での経営改善計画の作成の一方、国の事業補助金申請や、種々の経営計画認定制度の創設による活用などが挙げられる。



6. 計画の作成

【問7】 資金繰り・資金調達

資金繰り・資金調達に関しては、「今は不要だが、今後必要」が最も多く、「無借金経営」が次に続いているが、このところの金融政策の影響を反映して、「借入れは容易」というのも一定程度あり、資金繰り難は限定的である。



7. 資金繰り・資金調達

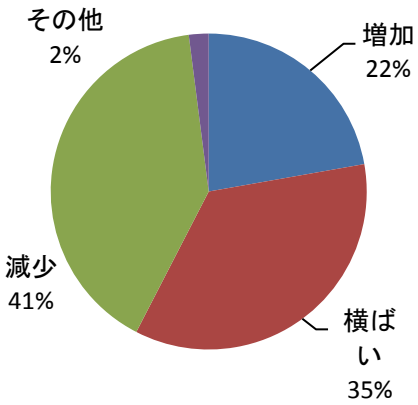
【問8】 直近の収益状況

① ［売上高］

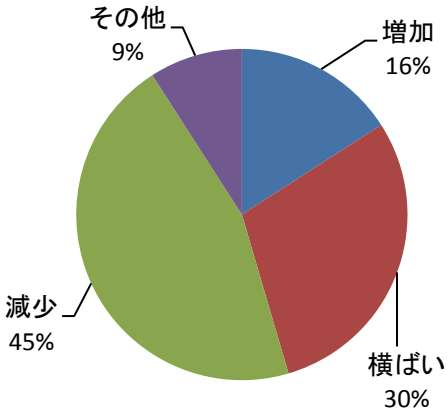
売上・受注高に関しては、「減少」が最も多く、次いで「横ばい」、「増加」の順となっており、売上高の増減と、事業計画・経営計画の作成の有・無との間に相関関係も見受けられる。

② ［売上総利益］

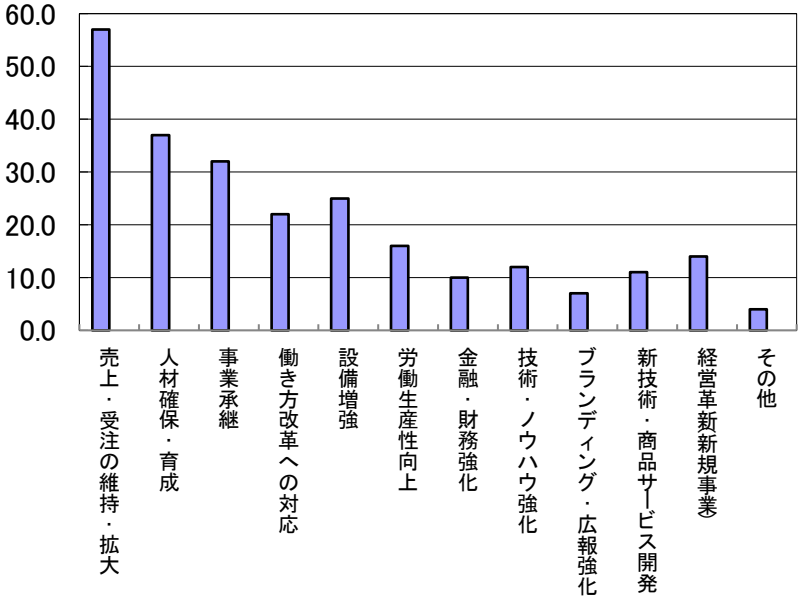
売上総利益に関しては、「減少」が最も多く、次いで「横ばい」、「増加」の順となっており、売上高の増減割合と比べると、さらに厳しい状況となっている。



8. ①直近の収益状況（売上）



②売上総利益

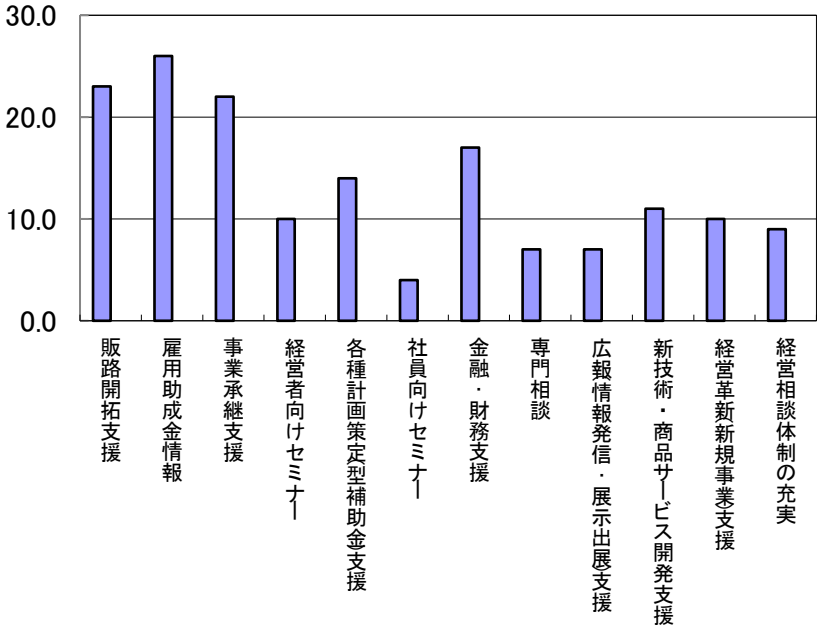


９．直面する経営課題

【問9】 直面する経営課題（複数回答可）

直面する経営課題としては、「売上・受注の維持・拡大」が最も多く、回答企業全体の半数を超えており、次いで「人材確保・育成」、「事業承継」、「設備増強」が共に3割前後を占めるなど、傾向として、特に工業では、後継者難とは別に、人手不足とその対策として、省力化を進めるため、設備投資の必要性が増している。

続いて、「働き方改革への対応」、「労働生産性の向上」の順となっており、うち、トップ項目以外は、経営資源の中でも、「ヒト」に関連する回答が多く、特定分野への支援ニーズが高い。



１０．必要な支援策

【問 10】 必要な支援策（複数回答可）

必要な支援策では、「雇用助成金情報」が最も多く、次いで「販路開拓支援」、「事業承継（税務・法務等）支援」、「金融・財務支援」、「各種計画策定（型補助金）支援」の順となっており、人材確保・育成、売上・受注の維持・拡大、事業承継、設備増強、働き方改革対応、労働生産性向上など、経営課題の解決に直接・間接的に資する支援策を望む回答が多かった。

中でも、助成金情報・補助金支援に金融・財務支援を加えると、資金調達に関する支援策への関心が高いとの結果となった。

【問 11】当所へのご意見、ご要望等（自由記入）

・大型店の増加に比べ、顧客は減るばかりで、シャッター街となっている。借り入れはないので、何とか営業はしているが、個人経営では薄利での販売に苦労し、年々赤字が多くなり、このままでは閉店するのみ。（小売業）

・亀山市が空き家助成をしているが、空家バンクだけでは良い物件がなかなか見つからないので、空き家の持ち主と事業者とのマッチングの取り組みをして欲しい。（サービス業）

・中小企業支援に関する最新情報の提供を希望。（サービス業）

・家族経営なので、経営課題は考えられず、いつまで仕事できるかわからない。（製造業）